

1. この前は、少年サムエルのお話しをしましたね。サムエルさんは、子供の時から、神様のお役に立つことができるように、訓練されていました。

そして大人になって、年をとっておじいさんになるまで、サムエルさんは素晴らしい働きをしたのです。

2. 神様は、サムエルさんを用いて、イスラエルの最初の王様を任命しました。イスラエルの最初の王様は、サムエルさんの素晴らしい活躍があつてこそ、誕生したんですね。

3. そしてイスラエルの二代目の王様を任命する時がやってきました。神様はサムエルさんに、エッサイという人の息子の中から王様を選ぶように告げました。

サムエル「エッサイよ、お前の子供たちを紹介しておくれ」

こうして、最初の息子が登場した時！

4. **サムエル**「決めたー！ 決定～！！ 間違いない、イスラエルの次の王様はこの美しい青年に間違いないっ！」

5. ところが神様は、その人ではないとおっしゃいました。その時の神様のおことばです。

「人はうわべを見るが、主は心を見る。」 I サムエル16:7

6. こうしてサムエルさんは、神様の声を聴き、神様が選ぶ人物を慎重に見極めることにしました。そこにはエッサイの息子7人がおりましたが、そのうちの誰でもありません。

7. そして最後に連れて来られたのは、羊飼いをしていたダビデ少年でした。

その時、神様の声がしました。「この者がそれだ」

8. こうして選ばれたダビデ少年は、立派に成長して、イスラエルの二代目の王様となりました。羊飼いをしていた少年が王様になるなんて、サムエルさんも、他の誰も想像もできませんでした。でも神様は、そんなダビデ少年を選んで、神様のお役に立つことのできる王様にしてくださいました。

みんなも、神様のお役に立つことができますよ。

誰かと比べる必要なんてありません。君には君にしかできない、神様のご用があるんです。

神様の目は、君を誰かと比べたりなんかしませんよ。

みんな一人一人が、大切な神様の子供なのでから。

おしまい。